

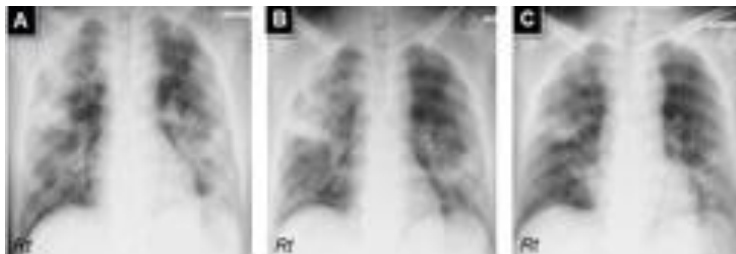
重症COVID-19の治療中に黄色ブドウ球菌肺炎を合併した2例

重症COVID-19加療中の合併症として人工呼吸器関連肺炎などの細菌感染症の報告は多く、しばしば黄色ブドウ球菌による合併症も報告されている。

本報告の70代男性（症例1）と40代男性（症例2）はCOVID-19が重症化し、人工呼吸器管理を要した。高用量ステロイド療法でCOVID-19肺炎は改善傾向となったが、その後の経過中に胸部X線で肺炎像の増悪や炎症反応増悪を認めた。喀痰培養より黄色ブドウ球菌（methicillin-susceptible *S. aureus*, MSSA）が検出された。黄色ブドウ球菌肺炎（MSSA肺炎）と診断し、10日間の抗菌薬治療で治癒を得た。

重症COVID-19の加療中には本症例のような細菌感染の合併の可能性を常に念頭におき、患者の状態変化の際には速やかに評価、加療を行う必要があることが示唆された。

症例1（40代）

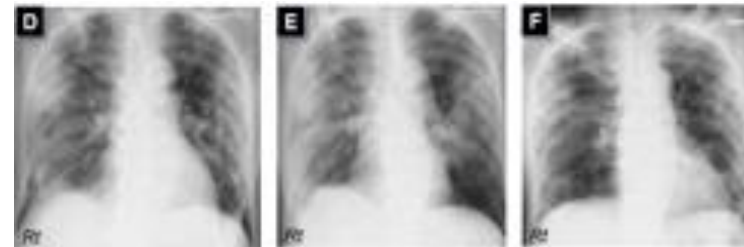


入院時

MSSA肺炎
発症

MSSA肺炎
治療後

症例2（70代）



入院時

MSSA肺炎
発症

MSSA肺炎
治療後